

かわらだひろこ
川原田弘子

News

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5844 FAX078-322-6161

国では、村木厚子さんを事務局長に登用した「待機児童ゼロ特命チーム」が発足、先日、200億円の予算要求が報道されました。下記に示す女性医師の方との懇談会でも、保育所への入所が困難であったり、「医師は朝から晩まで働いて当然」の風潮の地域もあるなど、課題が上がりました。大学の医学部では、現在4割が女性。女性医師が働き続けられなければ医師不足にも直結します。女性医師の問題を切り口に、仕事と家庭が両立できる社会、誰もが考えて取り組んでいくべきだと思います。

垂水支部 川原田弘子事務所連絡先

〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202
TEL&FAX 078-709-8998
携帯 090-1956-5565
e-mail : happy@hiroko-club.com URL : http://www.hiroko-club.com



～第4回定例市会から～

児童虐待防止・里親制度の普及について

あけましておめでとございます！
市長に予算要望を行いました仕事が重く
なってませんか？

代表質問では、児童虐待対策として、子ども家庭センターの増員や立ち入りの強制権限の運用強化について、また、養子縁組を前提としない養育里親や、季節里親・週末里親の普及について質問しました。副市長答弁「センターの職員は70名おり、そのうち虐待専門に11名の職員を配置して対応している。臨検にまでは至っていないが、5年間で一時保護は61件ある。一時保護は親子関係を一旦隔離することになるので、相当に勇気がいるが、現場での対応は相当突っ込んだ対応をしていると認識する。里親登録が進まなかったので、国が養育里親の制度を作った。市でもシンポジウムを開催し、更にH21年度から「里親委託等推進委員会」を設置し季節里親・週末里親も併せて普及拡大に努めている。」

待機児童解消に向けて

待機児童の解消策として、代表質問では公園を利用した保育所設置ができないか質問しました。矢田市長「かつて笹山市長の時代に、住吉公園に保育所と特別養護老人ホームが設置されている例があるが、緊急だから当時とはとにかくやらないといけなかった。一方で公園は地域の拠点であり子どもの遊び場でもある。土地の確保の難しい中、様々な手を尽くして保育所を設置してきた。今、行っているのは、施設を統廃合した跡地を保育に充てること。」再質問で、来年予算の保育所整備の中に「公園用地の活用」が盛り込まれているが、神戸市の提案と聞く。どんどん、国に(規制緩和の)提言してほしい。矢田市長「公園法の定めがあり、実際には公園には自由に施設を持っていくことはできない。公園法の定めをどのように変えていけるのかという問題がある。」



女性医師の会との懇談会開催



民主党県連男女共同参画委員会と県医師会の女性医師の会との懇談会が県関連部局同席のもと開催され、事務局長として司会を務めました。女性医師の皆さんからは、「研修医の間は、働いていない扱いとなり保育所の優先順位が低い」「開業医は、自分の病気や子どもの学校行事でも診療を休めない。」また、病院経営の立場から「短時間勤務など積極的に取り入れたいが補助もなく、民間病院では厳しい」など、現場での生の声を聞くことができました。県より、「男女家庭部としては、医師・公務員・研究者の分野については、女性の割合をH30年度までに30%にあげていく目標。意思決定の場に女性の割合を増やしていく。」という方針や女性医師の再就職支援事業の紹介がありました。医師不足とワークライフバランス両面から活発な議論が行われました。